

## ユネスコ／日本ESD賞について

より良いESDの取組に向けた動機付けと、優れた取組を世界に広めることを目的とし、日本政府の財政支援により2014年にユネスコに創設。毎年3件を表彰。

### 1. 内容

GAPの五つの優先行動分野のうち、一つ以上の分野でESD活動に取り組んでいる団体、学校又は個人が実施する、ESDに関する優れた事業を表彰。受賞者（団体）には、1件当たり5万米ドルの奨励金を授与

### 2. 選考手続き

ユネスコ加盟国又はユネスコ公式NGOの推薦（各団体最大3件）に基づき、世界5地域から選ばれた国際審査委員（5名）による審査会で選考を実施し、選考結果を踏まえ、ユネスコ事務局長が受賞者（団体）を決定

### 3. 選考基準

- ① ESDが持続可能な開発を支える変容をもたらす教育として行われており、個人及び社会の変化につながっていること
- ② 持続可能な開発に関係する社会、経済、環境の三つの側面を統合的に取り扱っていること
- ③ ESDに対するイノベティブなアプローチを実証していること

### 4. 第5回（2019年）公募スケジュール

2019年1月29日（火）国内公募開始

URL：<http://www.mext.go.jp/unesco/004/1412979.htm>

2019年2月28日（木）正午 国内公募締切

### 5. 第4回（2018年）の受賞者（団体）

- ナミブ砂漠環境教育トラスト（ナミビア）：ナミブ砂漠で小学生、コミュニティ、教員、保護者のためのESDに関する実践的な研修を提供する取組。
- カラビア財団（インドネシア）：地方教員を配属し、サンゴ三角地帯のための環境教育を実施する取組。
- Let's Do It 財団（エストニア）：コミュニティのためのクラウドソーシングで113か国2,000万人のボランティアを動員したゴミ処理及び廃棄物管理計画を開発する取組。

### 6. 第4回ユネスコ／日本ESD賞授賞式

- 2018年10月9日にユネスコ執行委員会のサイドイベントとして開催し、約250名が出席。
- 我が国からは山田滝雄ユネスコ日本政府代表部大使が出席し、副賞を授与。

